平成29年12月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

12 2017 December No.79

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

みんなで楽しく、体を動かそう！ 豊間アカデミー「体操教室」

表紙から Message

豊間小では震災後、通学路が整わず、ほとんどの児童がバス通学をしています。学校が再開されて、学力低下や運動不足を解消するためにPTAが学校や保護者、学習施設などに働きかけ、豊間アカデミーを立ち上げました。なかでも体操教室はとても人気で、全校児童の約7割が参加しています。

平

各地区トピックス

久之浜大久

久之浜一小鑑賞教室

四倉 四倉中で落語鑑賞会

小名浜

タイルを貼り付け完成へ

勿来 歌とダンスのショー

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

久之浜中 海蜂祭 創立70周年、そして未来へ

10月28日、久之浜中学校の文化祭・海蜂祭が行われました。今年、創立70周年の節目を迎え、学校のこれまでの歩みが紹介された後、ダンスや合唱発表などが行われました。

総合学習発表では、1年生が上級学校、2年生が職場体験について発表。3年生は久之浜・大久の商業、農業、漁業、観光業の現状と、地域の未来について発表を行いました。そのなかで「地域の良さを一人ひとりが再確認し、発信していくことが大切である」と未来への展望が語られました。

3年生がスライドを使い、発表した久之浜中学校70年の歩み

私たちのふるさとへの願い

中町 髙木優美（まさはる）さん

久之浜児童クラブのみなさん

地域とともに生きる

行政嘱託員
北町区長
鈴木 豊さん

復興へ、夢を後進に託して

区長を務めて19年、87歳になりました。振り返ると、震災直後は本当に大変でした。区長として出席する会議が毎日のようにあり、また、防犯協会会長も兼務しているので、早朝から夜中まで、久之浜の町を見回りしました。今思えば、気が張っていたから続けられたんだと思います。

現在は、東団地ができて避難していた人が戻り始め、浜風きららの完成や、星廼宮神社の移転再建など復興へ向けて確実に前進しています。今年度で区長は引退しますが、今後は町内会の役員と若い人たちの後押しをしていくつもりです。

11月26日の星廼宮神社竣工式の準備に集まる鈴木さん（右から3人目）はじめ北町町内会役員のみなさん

久之浜・大久ピックアップ

久之浜二小学習発表会

11月3日、久之浜二小学習発表会が開かれました。劇や合奏、詩の朗読とマット運動などが披露され、最後に全校児童21名によって合唱が行われました。

演目の最後は全校児童による合唱

海竜の里第11回こども祭り

11月3日、市海竜の里センターで「第11回こども祭り」を開催。遊具施設が小学生以下に無料開放されたほか、ストラップ作りなどの催しが行われ、賑わいました。

人気の手作りストラップのコーナー

学校へ行こう!久之浜一小

11月2日、久之浜一小で「学校へ行こう！観賞教室2017」が行われました。近隣住民も学校を訪れ、フルートの演奏とフラメンコ演舞を一緒に楽しみました。

講師と先生、児童による合同演奏

ふるさとの未来へ向けて

四倉町でひと足早いクリスマスを楽しむ

市北部地区の交流人口増を図る目的で、今年初めて行われた「よつクリスマスイルミネーションズ」。11月18日から26日まではワンダーファームで「ワンダーブルークリスマス」が開催され、11月25日・26日の両日は、道の駅よつくら港で「ライトバルーンカフェ」が行われました。

道の駅のふれあい広場には、光るバルーンを使ったクリスマスツリーと、バルーンや灯篭が飾られ、イルミネーションが点灯するなか、ステージイベントが行われました。

午後6時に点灯したバルーンツリーの前では、多くの来場者が記念撮影

地域とともに生きる

よつくらYOSAKOI美舞蝶組（あげはぐみ）代表 曽我 久美子さん

観客を元気にできる演舞を心がけて

今年で結成17年目を迎えました。15名のメンバーの多くは四倉在住で、市内のイベントなどで年間20回ほど踊っています。イベントは週末が多く、県外に足を伸ばすことも。メンバーのほとんどが主婦ですが、家族の理解と協力のおかげで、家事と活動を両立させています。

演舞中は笑顔を絶やさず、観客を少しでも元気にできる踊りを心がけています。観客の楽しそうな様子を見ると、私たちも元気になれます。今後も、チーム名のようにあちこちの会場に羽ばたいて行って、私たちの踊りを披露したいです。

11月12日、道の駅よつくら港での「いわきDE YOSA来い！秋祭りinよつくら」で踊る曽我さん

私たちのふるさとへの願い

チャイルドハウスふくまるの子どもたち

四倉中学校長　中根猛さん

四倉ピックアップ

公民館で市民文化祭

11月3日、四倉地区市民文化祭の芸能の部が四倉公民館で開かれ、民謡、フラダンス、合唱、体操などのサークルが、日頃の活動の成果を発表しました。

華麗な踊りを披露したフラサークル

大浦小学習発表会

10月28日、大浦小で学習発表会が行われました。児童たちは、体育館に詰めかけた保護者らの前で、劇、ダンス、合唱・合奏などを発表して、会場を沸かせました。

息の合ったダンスを披露する5年生

四倉中で落語鑑賞会

10月26日、四倉中の1年生を対象とした落語の鑑賞会が行われ、三笑亭可龍さんが「初天神」を披露したほか、生徒と先生が落語の実演体験に挑戦しました。

可龍さんによる落語の実演体験

地域とともに生きる

薄磯観光組合
会長
鈴木 一好さん

観光の町、復活へ向けて

震災前は、薄磯の塩屋埼灯台下で土産店とレストランを営んでいましたが、震災後はレストランを休業して、市外から被災地視察などで訪れる方に、震災直後の写真を見せながら、実体験を話しています。しかし、震災から6年以上が経過し、いつまでも過去を振り返っているわけにはいかないと、来年の3月からレストランを再開しようかと考えています。

防災緑地の整備も進み、県道もほぼ開通し、町の復興もだいぶ進みました。海水浴場のオープンにより、観光客も少しずつ戻ってきています。観光の町を再び取り戻せるよう、私も頑張ります。

バスツアーで訪れた観光客に、ご自身が撮影した写真を使い、体験談を話す鈴木さん

ふるさとの未来へ向けて

沿岸地域から元気を！ 豊間屋で作品展示

来場者に抽選で景品が当たる企画も実施中

第2回海まち・とよまフォトコンテストの作品展示が、11月18日から豊間地区のとよマルシェ内「豊間屋」店内で始まりました。

今回のテーマは「いわき七浜・人と海」。写真の対象を市内全域の海岸とし、「沿岸地域から元気を発信していける作品」を募集。応募されたなかから、全61作品を選び、展示しています。より多くの方に見てもらえるように期間中の土、日曜日は、営業時間を19時まで延長しています（作品展示は来年1月末まで）。

私たちのふるさとへの願い

豊間　鈴木喜子さん

豊間　斉藤恭子さん

平ピックアップ

「おーい元気会」開始

豊間南地区（兎渡路・合磯）では、高齢者の交流の場として「おーい元気会」を立ち上げ、毎月第2第4水曜日にシルバーリハビリ体操を行っています。

交流を兼ねた体操教室は大人気

豊間まちづくり懇談会

11月18日、豊間団地集会所で、ふるさと豊間復興協議会の豊間まちづくり懇談会が行われ、今後のまちづくりや各団体などのワークショップが行われました。

とーちゃんの会の代表者による発表

薄磯高台で消火訓練

11月12日、薄磯の高台で第1支団平消防署合同遠距離中継送水訓練が行われ、薄磯団地と豊間中の2ヵ所の防火水槽からホースを繋ぎ、高台の火点へ放水しました。

的確に火点へ放水する団員たち

ふるさとの未来へ向けて

花で県道沿いを彩る

11月23日、永崎女性の会は、「平成29年度いわきの復興を担う地域コミュニティ重点支援事業」を活用し、永崎橋出地区の県道沿いで、花植え活動を行いました。下神白、永崎団地の住民の方々も参加し、パンジーや葉牡丹・ビオラ・すみれの苗とチューリップの球根を花壇に植えました。

思いを込めて、花の苗を植える参加者

花植え作業終了後、笑顔で記念撮影

地域とともに生きる

タウンモール・リスポ
小名浜名店街協同組合
代表理事
八巻 義英さん

地域の人たちへ感謝と恩返しを

震災当時は、休まず営業し、お客様へ食料品等を無償で配るなど、地域のみなさまのために尽力しました。

平成28年5月から代表理事に就任しましたが、後継者不足や老朽化などの問題で、平成30年1月15日をもって閉店することとなりました。地域の人たちに愛され、青春時代を過ごした場所が無くなってしまうのは、とても寂しいです。残り少ない期間ですが、ふるさと小名浜と地域の人たちへの感謝を忘れず、お世話になった分の恩返しを少しでも多くできるよう、活動していきたいと思っています。

小名浜諏訪神社例大祭など、地域の行事にも協力。今年5月3日の例大祭に、リスポ駐車場で紅白餅を配る八巻さん(正面左)

私たちのふるさとへの願い

小名浜　大和田伴子(ともこ)さん

永崎女性の会　小松さん・酒井さん

小名浜ピックアップ

秋祭り交流会

11月18・19日、県営下神白団地と市営永崎団地で、秋祭り交流会が開催。なみえ焼そばの販売やフラダンスショー、和太鼓演奏などもあり、参加者は楽しく交流しました。

YOSHIDA STUDIOのみなさん

タイルの貼り付け完成

11月14日、陶芸家の秤屋苑子さんの指導で、菊田小・勿来一小・小名浜二小の5年生が制作した陶板タイルが、三崎公園内に設置されたベンチに貼り付けられました。

作品を貼り付ける小名浜二小の児童

江名公民館まつり

10月29日、「第26回江名公民館まつり」が行われました。同公民館を利用するサークルのみなさんによる芸能発表や作品展示もあり、多くの来場者で賑わいました。

いわきうつくしま連による阿波踊り

地域とともに生きる

下山田下地区
自主防災会役員
澤田 忠雄さん

さまざまな経験から伝える「大切なこと」

震災当時、南部衛生センターに勤めていた私は、屋上へ避難し津波が押し寄せてくる様子を携帯電話で撮影したんです。後にその写真は消防署などに提供し、市の震災記録誌にも掲載されました。

また、震災後から力を入れて行っている年1回の地区の防災訓練では、情報伝達や招集避難誘導、炊き出し訓練のほかに、以前に消防署員として働いていた経験を生かし、防災講話を行ったこともあります。災害時にも冷静に行動できるよう、地区のみんなが日頃から防災意識を高めておくことが大切だと思います。

「いわき市復興のあゆみ2015」に掲載された、澤田さんが撮影した津波襲来の写真

ふるさとの未来へ向けて

県道泉岩間植田線改良工事の進捗状況

山の掘削工事が行われている現場の様子。写真左手が小浜方面で、右手が岩間方面

道路改良工事に伴い、これまで数回に分けて道路の切り替えが行われている小浜町と岩間町区間の県道泉岩間植田線。今年3月から、両地区の境界にある山の掘削工事が行われています。新しい道路は、既存道路の中央線より最大約22m山側へ移動し、幅員を9mから14mに拡幅することで、走行性や視認性の向上を図ります。

なお、掘削が行われている山の麓（ふもと）に、以前設置されていた石碑については、地元住民の要望から、元の場所の周辺に再設置されます。

私たちのふるさとへの願い

なこそ復興プロジェクト 中根有一さん

交歓の場「なかゆくい」ありがなおみさん

勿来ピックアップ

2日間で創る最高のショー

11月11・12日、「ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー2017秋」が勿来市民会館で開催。参加者は2日間のワークショップを経て、歌とダンスのショーを創り上げました。

完成したショーを披露する参加者

心をひとつに演奏を披露

11月4日、「第34回うえだバンドフェスティバル」が勿来市民会館で開催され、植田地区にある6つの小・中・高校の吹奏楽部員による息の合った演奏が披露されました。

参加した約130名による全校合奏

秋風と巡る、勿来の名所

11月3日、「第27回いわきシーサイド・ウォーク」が開催されました。秋空の下、約800名の参加者が、吹風殿や勿来駅、勿来海岸などを巡る、約8kmのコースを歩きました。

秋風を感じながら勿来を散策

ふるさとダイアリー

平　豊間公民館まつり

11月5日、豊間公民館で平成29年度「豊間公民館まつり」が行われました。館内ではパッチワークや絵手紙の作品展示のほか、スポーツ吹矢やパステルアートの体験も行われました。屋外では和太鼓や日本舞踊などが披露。ウニご飯や唐揚げが販売され、地元婦人会による食堂も人気でした。

浜菊会の「あんばさまの唄」

パッチワーク展示コーナー

小名浜　江名中文化祭「たてやま祭」

10月28日、小名浜市民会館で江名中文化祭「たてやま祭」が行われました。弁論発表や各学年のステージ発表、クラス対抗の合唱コンクールなどが行われ、生徒たちは練習の成果を披露。特に、3年生の各クラスごとに趣向を凝らした創作ダンスは、迫力があり会場を盛り上げました。

学校賞に輝いた3年1組の合唱

3年2組による創作ダンスの発表

勿　来　活動の成果を披露

10月28・29日、「平成29年度勿来地区市民文化祭」が開かれました。両日は勿来体育館で文化展が実施され、絵画やパッチワークなどの作品を展示。また、29日は勿来市民会館大ホールで芸能祭が行われ、民謡や踊りなどが披露されました。

文化展

会場を鮮やかに彩った華道作品

芸能展

観客を魅了したフラダンス

久之浜・大久　ふれあい館で夫婦（めおと）ライブ

新しい久之浜の歌「たしかなる風」を地区のみなさんと一緒に作りあげた詩人・桑原滝弥さんと講談師・神田京子さん夫妻による「夫婦幸福ライヴinふくしま2017」が11月12日、久之浜・大久ふれあい館で開かれました。詩の朗読パフォーマンスや講談「大名花屋」が披露され、楽しい時間が流れました。

ステージで長男・灯（あかり）君を紹介

終演後、みんな笑顔で記念撮影

ボランティア活動in末続

末続で草刈りなどの作業を続ける「福島ボランティアネットワーク」。平成24年から毎月第1日曜日に作業を行っており、「地元のみなさんもぜひ一緒に参加を」と呼び掛けています。

11月5日は末続駅清掃と周辺の草刈り作業

四　倉　四倉第一幼稚園運動会

10月29日、四倉第一幼稚園の運動会が四倉小体育館で行われ、園児たちは、玉入れやリレーなど12種目に挑みました。

かけっこでスタートを切る園児

晩秋の大浦をウォーキング

11月26日、第15回大浦ふれあいウォーキング大会が行われ、211名の参加者が田園風景を眺めながら約8kmの道のりを歩きました。

小春日和の中を歩く参加者

いわき市ふるさとだより
No. 79
平成29年12月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

震災復興・生活道路再生事業について 平成28年度の実施箇所を公表

震災の影響による道路の破損や、路面舗装の老朽化による凹凸などが著しく、緊急な対策が必要な市道について、市では昨年度から、路面再生工事や構造物等の補修工事を実施しています。

今年10月には、昨年度に工事を行った市内63路線について、施工箇所や施工延長などをとりまとめ、市ホームページに公表しました。

なお、今年度は昨年度からの継続路線や、新規の路線を合わせた55路線で事業を実施中。事業期間は平成30年度までの3ヵ年を予定しています。

【実施例】

◆小名浜字吹松／林ノ上・吹松線(施工延長172m)

◆勿来町窪田十条／町通・堰下線(施工延長200m)

【問い合わせ】
市道路管理課　☎0246-22-7493

ふるさと伝言板

沼ノ内「水祝儀」

日時／1月8日(月)
13：00～
場所／沼ノ内愛宕神社境内
(沼ノ内公民館前)

住まいと暮らしの再建相談会

日時／1月13日(土)
／1月28日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／中央台公民館
大会議室(1)(2)
定員／9組(各時間3組)
◆お申し込みは開催日の3日前まで

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとPICK UP

いわきの在住者が交流

10月28日、「いわき大交流フェスタ2017」が、21世紀の森公園屋内多目的広場で開催されました。震災での避難者や支援者、地元住民などが一堂に会し、絆を深めることを目的に実施。特設ステージのほか、展示・体験・飲食エリアが設けられ、大勢の来場者で賑わいました。

元気な演奏とパフォーマンスを披露した湯本一小吹奏楽部

屋内には各種団体によるサロン活動での作品などが展示

車いすバスケやハンドバイクなど、パラスポーツ体験も実施

出店が並んだほか、お茶や雑煮も振る舞われた飲食エリア

担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

～平成26年度:勿来地区担当　中山明穂～

この年は、市災害公営住宅の整備が進み、次々と入居が開始されました。私たちもその状況を追い、被災された方々の新たな生活に向けて少しでも役に立てるよう、各団地の情報を紙面で紹介しました。

また、今年10月に岩間町防災緑地へ植樹された苗木の採取が始まったのもこの年で、着実に進む復興の様子を間近で感じることができました。

次号では平地区担当者が語ります。

平成26年度10月号の表紙

初めての実施で採取された苗木

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！